

通学区域候補案の考え方

「通学区域の設定基準」

■ 周辺学校の適正規模化、通学路の安全性、町内会・自治会等地域活動の状況、鉄道、幹線道路等状況、地域開発状況を考慮し、地域単位で区域を設定する。

■ 既存小学校の通学区域の変更による新設小学校への就学は全学年を対象とする。

「候補案」

別添のとおり（4つの候補案に整理）

「重点事項」

■ 新設小学校の適正規模化に十分配慮する。

■ 学校予定地の通学区域校である西丸子小学校の適正規模化にも十分配慮する。

■ 児童数が増加傾向にある上丸子小学校・今井小学校・中原小学校の将来的な適正規模化に向けた検討を行う。

■ 将来的な開発状況等も可能な限り想定に入れた児童数・学級数推移を基に多角的に検討する。

小杉駅周辺地区の小学校 (通学区域内の開発動向)

- 【凡例】

小学校区

中学校区

平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)

平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

0 300m



西丸子小 保有教室20		
	児童数	学級数
H29年度	589	18
H30年度	643	20
H31年度	686	20
H32年度	685	20
H33年度	761	22
H34年度	805	24

上丸子小 保有教室30		
	児童数	学級数
H29年度	834	25
H30年度	911	26
H31年度	960	28
H32年度	982	29
H33年度	976	29
H34年度	1005	30

中原小 保有教室24		
	児童数	学級数
H29年度	722	22
H30年度	744	22
H31年度	765	23
H32年度	800	24
H33年度	792	23
H34年度	822	25

下沼部小		
	児童数	学級数
H29年度	905	28
H30年度	970	29
H31年度	1035	30
H32年度	1047	30
H33年度	1110	31
H34年度	1098	32

今井小 保有教室30		
	児童数	学級数
H29年度	902	26
H30年度	897	26
H31年度	894	26
H32年度	926	26
H33年度	977	28
H34年度	1031	30

東住吉小		
	児童数	学級数
H29年度	498	15
H30年度	515	16
H31年度	540	17
H32年度	567	18
H33年度	630	20
H34年度	691	22

平成28年10月時点

通学区域候補地域の考え方

- 周辺小学校の通学区域の中で、新設小学校予定地の通学区域に隣接する地域であること。
- 周辺小学校が所在する地域は対象外とする。
(上丸子小：上丸子八幡町、今井小：今井西町、中原小：小杉御殿町1丁目)

小杉駅周辺地区新設小学校通学区域候補案について

候補案作成の基本情報

対象小学校 (中学校区)	現行の通学区域	新校通学区域候補エリア
西丸子小学校 (中原中)	上丸子天神町 新丸子町 丸子通2丁目 小杉陣屋町1～2丁目 小杉町1～2丁目 等々力1番1号、19～20番1号	小杉町1～2丁目 新丸子町
今井小学校 (今井中)	今井上町1～8、11、12番 今井仲町 今井西町 小杉町3丁目	小杉町3丁目
上丸子小学校 (中原中)	上丸子 上丸子山王町1～2丁目 上丸子八幡町 新丸子東1～3丁目 丸子通1丁目	新丸子東1丁目の一部 新丸子東2丁目の一部 (すべて綱島街道より新校側)
中原小学校 (宮内中)	今井上町9～10、13番 上小田中6丁目5～15、21～46、48～51番8号 上小田中7丁目 小杉御殿町1～2丁目 等々力1番2号～3番、6番1号～18番	小杉御殿町2丁目

対象小学校の児童数・学級数長期推計（平成28年10月）

学校		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
西丸子小	児童数	572	589	643	686	685	761	805
	学級数	18	18	20	20	20	22	24
今井小	児童数	905	902	897	894	926	977	1031
	学級数	26	26	26	26	26	28	30
上丸子小	児童数	795	834	911	960	982	976	1005
	学級数	25	25	26	28	29	29	30
中原小	児童数	685	724	744	765	800	792	822
	学級数	20	22	22	23	24	23	25

A案（小杉町1～2丁目・小杉御殿町2丁目）

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	445	469	535	586	687	755	830
	学級数	15	15	18	20	22	24	25
西丸子小	児童数	417	401	423	438	451	462	471
	学級数	13	12	13	14	15	16	16
中原小	児童数	591	618	598	606	582	562	538
	学級数	17	18	18	18	18	18	18

B案（小杉町1～2丁目・新丸子町・小杉御殿町2丁目）

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	496	519	589	642	740	810	884
	学級数	16	17	18	20	22	24	26
西丸子小	児童数	366	351	369	382	398	407	417
	学級数	12	12	13	14	14	14	14
中原小	児童数	591	618	598	606	582	562	538
	学級数	17	18	18	18	18	18	18

C案（小杉町1～2丁目・新丸子町・新丸子東1丁目の一部、新丸子東2丁目の一部）

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	392	403	467	502	605	670	754
	学級数	12	13	14	14	19	20	23
西丸子小	児童数	366	351	369	382	398	407	417
	学級数	12	12	13	14	14	14	14
上丸子小	児童数	888	913	901	926	888	849	781
	学級数	26	26	26	26	26	26	23

D案（小杉町2丁目、小杉町3丁目）

学校		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	404	474	537	601	678	747	823
	学級数	14	15	17	19	22	24	25
西丸子小	児童数	489	475	536	563	651	684	723
	学級数	15	15	18	20	21	21	21
今井小	児童数	687	662	665	672	660	677	683
	学級数	20	20	20	21	20	21	21

※平成35年度以降の児童数・学級数については近隣地域の実績を基に参考値として示しています。

※当初候補案（10案程度）から新設校の規模等を踏まえた検討を行い、4つの候補案に整理。

小杉駅周辺地区新設小学校 (通学区域候補B案)

【凡例】

- 小学校区
- 中学校区
- 平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)
- 平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

0 1,750 300m

N

西丸子小 保有教室20

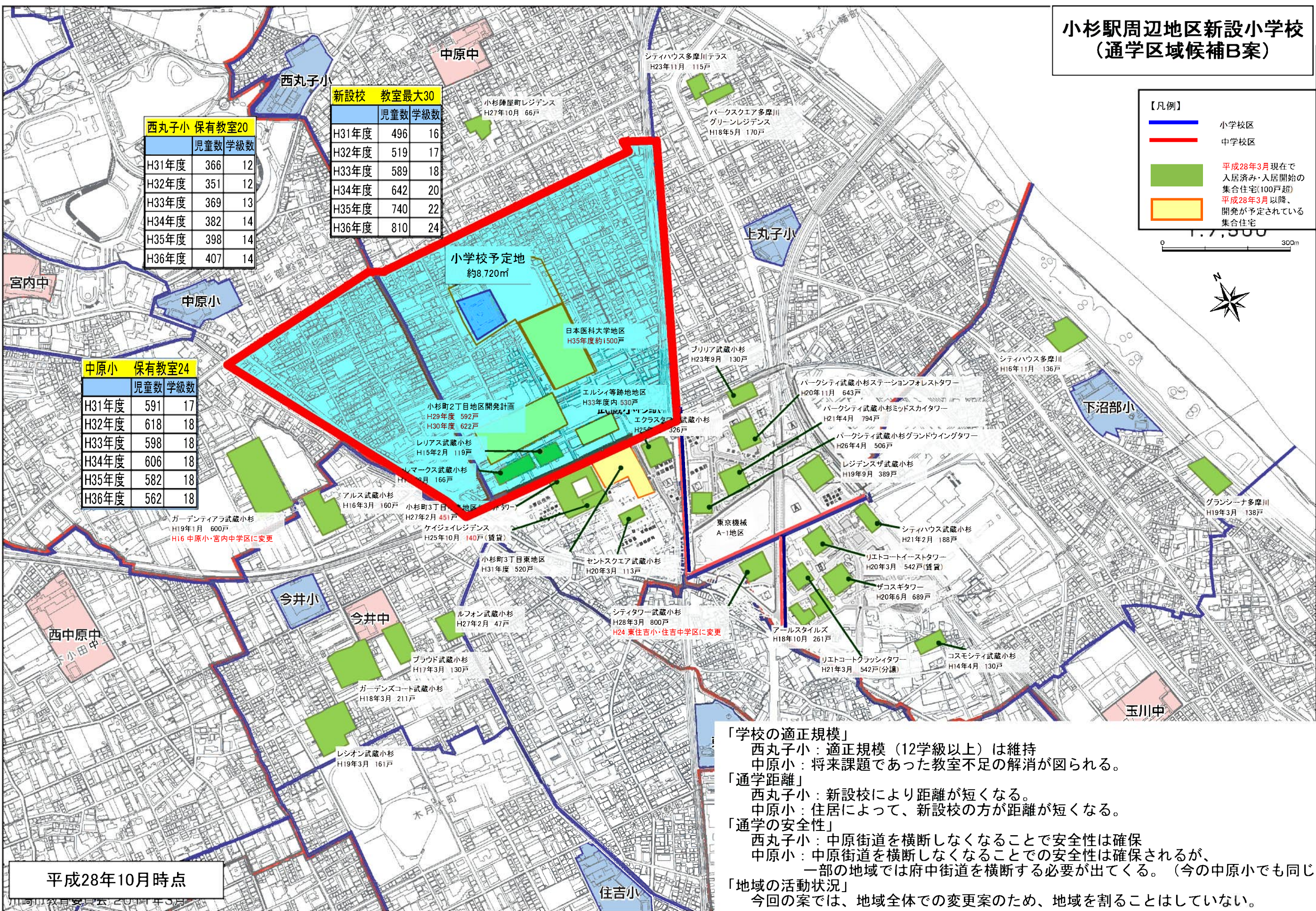
	児童数	学級数
H31年度	366	12
H32年度	351	12
H33年度	369	13
H34年度	382	14
H35年度	398	14
H36年度	407	14

新設校 教室最大30

	児童数	学級数
H31年度	496	16
H32年度	519	17
H33年度	589	18
H34年度	642	20
H35年度	740	22
H36年度	810	24

中原小 保有教室24

	児童数	学級数
H31年度	591	17
H32年度	618	18
H33年度	598	18
H34年度	606	18
H35年度	582	18
H36年度	562	18



平成28年10月時点

- 「学校の適正規模」
西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
中原小：将来課題であった教室不足の解消が図られる。
- 「通学距離」
西丸子小：新設校により距離が短くなる。
中原小：住居によって、新設校の方が距離が短くなる。
- 「通学の安全性」
西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
中原小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保されるが、一部の地域では府中街道を横断する必要が出てくる。（今の中原小でも同じ状況）
- 「地域の活動状況」
今回の案では、地域全体での変更案のため、地域を割ることはしていない。

小杉駅周辺地区新設小学校
(通学区域候補C案)

【凡例】

- 小学校区
- 中学校区
- 平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)
- 平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

0 1,750 300m

西丸子小 保有教室20

	児童数	学級数
H31年度	366	12
H32年度	351	12
H33年度	369	13
H34年度	382	14
H35年度	398	14
H36年度	407	14

新設校 教室最大30

	児童数	学級数
H31年度	392	12
H32年度	403	13
H33年度	467	14
H34年度	502	14
H35年度	605	19
H36年度	670	20

上丸子小 保有教室30

	児童数	学級数
H31年度	888	26
H32年度	913	26
H33年度	901	26
H34年度	926	26
H35年度	888	26
H36年度	849	26

小学校予定地
約8,720㎡

「学校の適正規模」
西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
上丸子小：児童数・学級数の増加傾向を緩和することが可能。

「通学距離」
西丸子小：新設校により距離が短くなる。
上丸子小：一部の地域では新設校の方が距離が遠くなる。

「通学の安全性」
西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
上丸子小：綱島街道を横断しなくなることで安全性は確保される。

「地域の活動状況」
今回の案により、新丸子東1丁目・2丁目の地域が割れてしまうことが課題。

平成28年10月時点

小杉駅周辺地区新設小学校
(通学区域候補D案)

【凡例】

小学校区
中学校区

平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)

平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

0 1,750 300m

N

西丸子小 保有教室20

	児童数	学級数
H31年度	489	15
H32年度	475	15
H33年度	536	18
H34年度	563	20
H35年度	651	21
H36年度	684	21

新設校 教室最大30

	児童数	学級数
H31年度	404	14
H32年度	474	15
H33年度	537	17
H34年度	601	19
H35年度	678	22
H36年度	747	24

今井小 保有教室30

	児童数	学級数
H31年度	687	20
H32年度	662	20
H33年度	665	20
H34年度	672	21
H35年度	660	20
H36年度	677	21

- 「学校の適正規模」
西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
今井小：適正規模化（24学級以下）が図られる。
- 「通学距離」
西丸子小：新設校により距離が短くなる。
今井小：一部の地域（府中街道より今井地区側）は、新設校の方が距離が遠くなる。
- 「通学の安全性」
西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
今井小：区役所側の地域は府中街道を横断しなくなることで安全性は確保されるが、新たに南武沿線道路の横断が発生するとともに、府中街道より南側の地域では府中街道も横断する必要が出てくる。
- 「地域の活動状況」
今回の案では、地域全体での変更案のため、地域を割ることはしていない。

平成28年10月時点

川崎市教育委員会 2016年3月